

三種の介護ロボット集合！ ～腰部の負担軽減で幸福度UP～

ロボット介護機器の研究や普及活動に
精力的に活躍されている

九州工業大学 柴田教授をコーディネーターに迎え、

FUJI(Hug)

マッスル(SASUKE)

ジェイテクト(J-PAS fleairy)

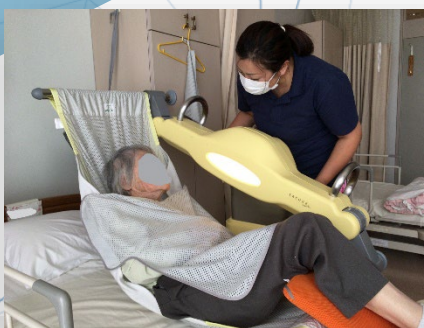
でディスカッション！



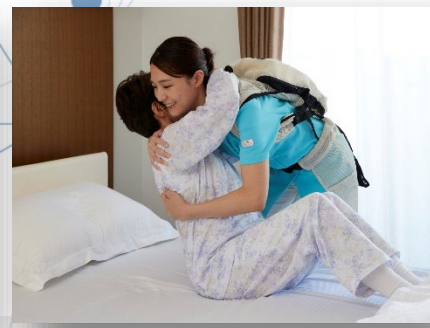
九州工業大学 柴田教授



移乗サポートロボット
Hug(東4：4-01-09)



ロボヘルパー
SASUKE(東4：4-03-08)



介護用アシストスーツ
J-PAS fleairy(東6：6-18-05)

第50回 国際福祉機器展(9/27(水)～9/29(金)10:00-17:00 *最終日は16:00まで)

来場者登録⇒ <https://hcr.or.jp/registration>

出展社プレゼンテーション

9月29日(金) 10:30～11:30
東京ビッグサイト東5 ホール (会場B)

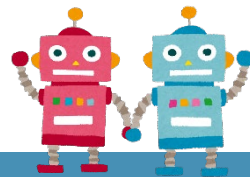


◀申込はこちら

定員に達した場合
別途連絡させて
頂きます

URL : <https://forms.office.com/r/h8Ewx9Sgct>

<個人情報の取扱いについて>お客様に入力して頂いた氏名・住所・電話番号・E-mailアドレス等の個人情報は今後、弊社もしくは関係会社において、弊社が出展または主催する展示会・セミナーのご案内、弊社が提供する商品・サービスに関するご案内など各種情報のご提供、及び弊社営業部門からのご連絡などを目的として利用させていただきます。弊社は、ご提供いただいた個人情報を、法令に基づく命令などを除いて、あらかじめお客様の同意を得ないで第三者に提供することはありません。詳細は<https://active-life.jp/jpasfleairy/contact/>からご確認ください。



三種の介護ロボット集合！ ～腰部の負担軽減で幸福度UP～

～各社ご紹介～

九州工業大学 柴田智広 教授

工学博士（東京大学）。2014年より九州工業大学教授。
人工知能、ロボティクス、神経科学などの融合領域研究に従事。
パーキンソン病を患った母親の介護体験から介護テクノロジー開発や
社会実装にも献身。令和2年度から厚労省と多数の介護ロボット開発
企業の支援を実施。IEEE、日本機械学会、日本ロボット学会、
日本神経科学学会、日本神経回路学会など権威ある学会から受賞多数。



(株)FUJI



「Hug (ハグ)」は座位間の移乗、トイレや脱衣所での立位を保持するスタンディングタイプの移乗サポートロボットです。「立つ」「座る」ボタン操作のみでスリングシート不要、誰でもカンタンに利用することが可能です。介助者の腰痛予防にも効果的です。

(出展場所 東4：4-01-09)



マッスル(株)



ROBOHELPER

SASUKE

出典：介護ロボット導入活用事例集より

「抱き上げ式」の移乗介護ロボット。簡単なレバー操作で120kgの方まで移乗が可能。寝たままの姿勢で専用シートを敷込み、片手操作で抱上げ、一人で移乗介助が可能。シート全面で支え体圧を分散、揺れの少ない安定した乗り心地で負担を軽減。シートの着脱も極端に軽減。双方に、やさしさと安心をお届けします。

(出展場所 東4：4-03-08)



(株)ジェイテクト



J-PAS
fleairy

介護作業における腰の負担軽減に着目したアシストスーツです。センサー内蔵で人の動きに調和し必要時、アシスト力を付与。幅広い介護作業で効果を発揮します。

「先進性・独自性」及び「ユーザー視点」が評価され、第10回ロボット大賞において、優秀賞（ビジネス・社会実装部門）を受賞しました。

(出展場所 東6：6-18-05)



皆様のご来場、心よりお待ちしております